# 公立阿俊曾医療センター



No.102 令和3年5月

# 地域医療連携センターニュース

公立阿伎留医療センターは、医の心を重んじ、患者の生命と健康と生活の質を考える良質 の医療を実践し、地域医療の最適化に努力します。 発行 地域医療連携センター

電話 042-558-0321(代表)

FAX 042-550-5190(直通)

### 令和3年度スタートにあたり

地域医療連携センター長 樫田 光夫

(副院長)

日頃より秋川流域の先生方及び医療・介護・福祉施設の皆様方におかれましては、当医療センターの医療連携業務の推進にご協力いただき、感謝申し上げます。地域医療連携センターは診療部の地域に開かれた窓口として、医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務担当者が一体となり、医療施設、介護施設との連携を通じて地域との医療連携を図ってまいりました。

近年特に新入院患者さんの支援、病床管理、退院支援に力を入れ、入退院支援業(PFM:Patient Flow Management)が円滑に行える体制が構築されました。

さて、昨年からの新型コロナウイルス感染症の全世界的流行により、 医療体制も大きく変化しています。当医療センターでも数多くの感染対策を行ってきました。

PCR センターをドライブスルー方式で開始したのを皮切りに、 救急外来前に仮設テント PCR 検査場、プレハブの診察室、トレーラーハウスの診察室を増設し、暑い日、寒い日にも対応しな がら発熱外来を行っています。

最近は入院される患者さん全員に入院時と入院後1週間目に PCR 検査を行い、院内発症の防止に努めています。院内でできる PCR 検査機器の整備も進め、現在は15分で判定できる NEAR 法の迅速検査と同時に 22 検体の検査を 3 時間で判定できる PCR 検査装置を導入し速やかに検査ができるよう発熱外来と検査科を中心に努力しています。また、陽性となった患者さんには可能な限り CT を撮影してコロナ肺炎の有無、重症度評価を行っています。

入院患者さんの対応は現在2病棟を感染症(コロナ)専用病棟とし、各保健所と東京都からの依頼による患者さんの治療にあたっています。 陰圧室を増強し中等症の患者さんを対象として、アビガン、レムデシベル、ステロイド、ヘパリン等使用可能な薬剤を駆使し、呼吸器内科後藤慎一部長を中心にコロナチームの医師が治療にあたっています。

医療従事者のワクチン接種も始まり、エントランスホールの一部を使用して今後高齢者から始まる大規模接種にも対応できる体制を構築しています。

新型コロナウイルス感染症の対策と一般診療を並行して運営していく大変な医療体制がまだ続きそうですが、センター一丸となって取り組んでまいります。今年度もご支援、ご協力の程よろしくお願いいたします。

# 放射線科からのお知らせ



# 三多摩地区の病院で初導入

# 『GE 社骨密度測定装置 PRODIGY Fuga Advance』

50歳以上の女性3人に1人は骨粗しょう症と言われています。

2021 年 3 月装置更新に伴い導入されました。連続測定ワンスキャン機能で撮影は 5 分以内。 痛みもなく患者さんの負担を少なくできます。 X 線による被ばく線量も胸部レントゲン撮影の 約 6 分の 1 です。

骨粗しょう症というのは、骨が弱くなり骨折の危険が高まる骨格の病気です。

骨密度が減っていってもほとんど自覚症状はありません。ただ骨粗しょう症がもとで骨折して初めて、痛みを感じたり、背中が曲がったり、寝たきりになったり、日常生活に支障を来たし易くなります。早めの確認が必要です。

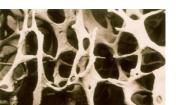
当院の DEXA 法では骨折すると日常生活に影響を与える腰椎や大腿骨の骨密度を精度よく測定できます。

### 予防・治療できるの?

現在、予防・診断や治療のための技術や治療薬が進歩しています。

早い段階で骨密度の状態を把握することで、良い効果が上げられてきた実績があります。まずは問診や骨密度測定を行い、骨密度を把握しましょう。







正常な骨(左)と骨強度の低下により骨折しやすくなった骨右)

PRODIGY Fuga Advance では、昨今学会等でも話題を集めている海綿骨構造指標(Trabecular Bone Score: TBS)が自動で反映されます。

従来の骨密骨評価を補足する指標として腰椎の骨微細構造を把握。より正確な骨の質の評価、骨密度が高い方に起こる脆弱性骨折リスクを評価することが可能です。

#### ご予約のお問い合わせ

公立阿留医療センター 放射線科 TEL:042-558-0321 (内線 2200)

# 骨密度が同じなのに骨が折れやすい人がいます。

#### TBSって何?

### BMD=骨の量 TBS=骨の質

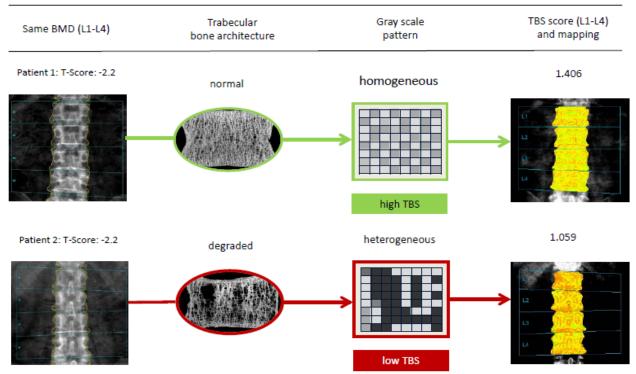
TBS は BMD 測定の補足としてご使用ください。

海綿骨構造指標の略で、骨微細構造の指標であり、骨折リスク予測のための独立したパラメータであり、 骨粗しょう症は、低骨量と微細構造の劣化が特徴です。

BMDのTスコアは骨粗しょう症を診断するためのゴールドスタンダードですが骨量のみに関連しています。 骨は複雑で、BMD がすべての骨折を説明することができないため、骨折した患者さんの 50%は「骨粗しょう症」カテゴリー1に属していません。

骨構造の劣化(TBSによって評価)は識別されない一部の骨折を説明可能です。BMDとTBSを組み合わせることにより、多くの骨折リスクを持つ患者さんの特定に役立ちます。

骨折リスクを事前に回避するために、骨密度+骨質(TBS)の検査をお勧めします。



骨密度の T スコアが同一の被験者の海綿骨構造と、TBS スコアの一例

患者 1:海綿骨構造も正常で、骨密度のグレースケールパターンは均質、TBS スコアは高値。

患者 2:海綿骨構造が劣化。グレースケールパターンは不均質で TBS スコアも低値。

このように、骨密度値を補う形での海綿骨構造指標の有用性が検討されています。

Medimaps Group has been certified by BSI to ISO 13485:2016 under certificate number MD 715500.

### ★ 当院の TBS の特徴

- ・追加の撮影は不要です。
- ・腰椎正面測定のみ使用可能です。
- ・大腿骨測定または前腕骨測定の計算には使用できません。
- ・成人のみ使用可能で、20歳未満の方は対象外です。
- ・BMI が〔15-37 kg/㎡〕を外れた患者さんは対象外です。

※ 海面骨構造指標(TBS ブラフ)は 20歳~80歳の女性のみ表示されます。男性は表示されません。

#### 常勤医師の入退職について(令和3年4月分)

常勤医師の入退職については、以下の通りです。新任医師については、順を追って ご紹介する予定です。

#### 入職

診療科・役職	氏 名
消化器内科医長	葉山 譲
小児科医長	吉田 圭
耳鼻咽喉科医長	堀越 友美
緩和治療科医長	河野 裕太
消化器内科	渋谷 真史
外科	駒橋 充
皮膚科	楢崎 緑
臨床研修医	山本 ともみ
臨床研修医	日吉 佐和子
臨床研修医	早川 史祥

#### 退職

診療科・役職	氏 名
小児科長	鈴木 潤一
消化器内科医長	武井 章矩
耳鼻咽喉科医長	髙嶋 正利
総合内科医長	高増 英輔
消化器内科	芳賀 大生
外科	加藤廉
皮膚科	早川 怜那
臨床研修医	北村 寛志
臨床研修医	日浦 悠斗
臨床研修医	竹内 令
臨床研修医(歯科)	溝口 緑

### 地域医療連携センターからのお知らせ

呼吸器内科の診察について、現在 COVID-19 の患者対応等により、予約外で来院された場合総合内科の診察または改めて予約の取り直しになる場合があります。

また、胸部 X 線異常陰影については、

呼吸器内科·小山信之医師(日本呼吸器学会指導医·専門医) ⇒ 水曜日

総合内科・佐々木真一医師(同専門医) ⇒ 水曜日

呼吸器外科·三浦弘之医師(同指導医·専門医) ⇒月曜日、木曜日

の診療日でも対応可能ですので、併せてご紹介ください。

地域の先生方にはご不便をおかけして申し訳ありませんが、ご理解、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。